

## 分科会における運行計画（案）の検討

### 1. 分科会における検討内容

平日の本格運行計画（素案）及び実証運行計画（素案）の説明会やパブリックコメントの結果を踏まえて、全ての意見に対して事務局で整理し、交通管理者との協議等を踏まえ、検討項目を振り分け、第16回市民部会及び第9回専門部会にて、再検討を行った。

#### ① 粟生間谷西地域におけるルートの検討

本格運行計画（素案）に対して、粟生間谷西地域における現行ルートの存続や、粟生間谷西地域の新設バス停についての利便性・安全性の観点からの問題点など、多くの反対意見が出されている。

#### ② 小野原東地域におけるルートの検討

本格運行計画（素案）に対して、小野原地域におけるルートの存続について、多くの反対意見が出されている。

#### ③ 如意谷地域におけるルートの検討

東行きの手公園前バス停は、周辺環境が危険であるため、南側バス停を活かしたルートにしてほしいとの意見が出されている。

### 2. 分科会における検討結果

効果的・効率的な運行を実現するため、ルート全体（パターンダイヤ）への影響も考慮し、運行距離が運行計画（案）と変わらないことを前提とした代替案を検討する。その検討結果を次頁に示す。

## ①栗生間谷地域におけるルートの検討

### 【市民部会での意見】

- 奥・栗生間谷西四丁目の存続については、将来的な情勢を踏まえると、存続は不可欠である。
- 現状の利用状況や全体の影響（パターンダイヤの維持）を考慮すると、廃止もやむを得ないのではないかと。
- これまで明示した見直し基準や考え方（ルール）に基づいて、検討すべきである。
- 代替バス停の候補地は、廃止対象となっている地域から離れている。そのため、効果は期待できない。
- 箕面駅から外院、栗生間谷西4丁目、奥に向かう代替ルートについては、栗生団地の利便性に配慮する必要があるが、地元で検討する価値はある。



事務局から市民部会意見をうけて、代替案の提示

### 【自治会での代替ルートの検討】

- 地元自治会として、代替ルートで栗生団地を経由する。または、現行ルートの存続を求める。



### 【専門部会での意見】

- 箕面駅から外院、栗生間谷西4丁目、奥に向かう代替ルートについては、栗生間谷西四丁目や奥バス停に比べて、著しく利用者の多い栗生団地バス停利用者に及ぼす影響が大きく、また、収支面でも課題が残ることから、当初の運行計画（素案）の運行ルートが最善である。
- 地元から代替案は栗生団地バス停利用者に影響を及ぼすことから栗生団地を経由するルートに変更する意見や現行ルートの存続を求める意見があったが、どの意見もルート全体へ影響を及ぼすことから、市民部会が求めている当初の運行計画（素案）のルート全体への影響を及ぼさない範囲での運行ルートの変更は難しい。



### 検討結果

市民部会意見であるように、運行距離が運行計画（素案）と大きく変わらず、全体に影響を与えないルートを前提に検討した場合、栗生団地バス停利用者に及ぼす影響が大きく、また、収支面でも課題が残り、地元からの理解も得られないことから、運行計画（素案）のとおりが良いとの結果となった。



## ②小野原東地域におけるルートの検討

### 【市民部会での意見】

- 当該地域における運行のあり方については、ルート全体への影響を及ぼさない範囲で、地元意見を取り入れることが望ましい
- 公共施設の直近にバス停を整備することが望ましい。



### 【地元自治会の取り組み】

- バス停の集約化を図る。
- 自治会内でバス停設置位置を確定させる。
- 自治会内の働きかけにより利用者増を図る。



地元自治会から意見のあった内容を提示

### 【専門部会での意見】

- 代替案については、利用者の利便性が維持でき、収支面で期待できる。
- 当該ルートの走行環境が優れ、運行計画（素案）よりも距離やバス停数が増えた場合でも、パターンダイヤが維持でき、ルート全体への影響も少ない。
- そのため、運行ルートの見直しが望ましい。



### 検討結果

市民部会意見であるように、運行距離が運行計画（素案）と大きく変わらず、全体に影響を与えないルートを前提に検討した場合、運行収支面で期待でき、また、地元の協力が期待できる運行ルートとなることから、代替案を運行計画（案）にすることが良いとの結果になった。



### ③如意谷地域におけるルートの検討

#### 【市民部会での意見】

○安全性が向上するのであれば、逆回りのルートとする方が望ましい。



#### 【箕面警察の意見】

○現在利用している東行きの山手公園前バス停については、交差点の直近になっており、安全上問題があるため、改善を必要とする。



#### 【専門部会での意見】

○逆回りのルートの方が運行管理上からみても望ましい。



#### 検討結果

地域住民からの意見に加え、交通管理者（箕面警察）からも、安全上の問題が指摘されていることから、市民部会や専門部会で協議のうえ、運行計画（素案）とは逆方向の西行きルートとし、現行ルートの対側のバス停を使う案を運行計画（案）とすることが良いとの結果になった。



## 分科会における検討資料

### 1. 本格運行計画（素案）等の検討経過

- 平成 22 年 9 月から開始した実証運行については、本格運行の実現に向けて、“ルート・バス停の見直し”、“便数の見直し”、“運賃などの見直し”の3つの観点から、見直し項目を設定・公表するとともに、市民に利用促進を呼びかけてきた。
- 利用者が多いルートやバス停については、サービスの改善を検討する一方、利用者が少ないルートやバス停については、サービスの低減を検討することを明確にし、広報紙を用いた呼びかけ、地域説明会の実施や自治会への書面配布も含め、バスサービスの維持に向けては、地域で支えることを前提とした取り組みをお願いしてきた。
- 平成 25 年度以降、持続的な運行の実現に向けては、より効果的・効率的な運行が不可欠であることから、再度見直し基準と照らし合わせ、個別地域への運行サービスのあり方を考えるとともに、運行の効率性につながるパターンダイヤの実現性など、ルート全体（=全市民的な運行サービス）への影響も重視した見直しを行ってきた。

表 見直し基準について

項目		見直し基準		検討の方向性
ルート・バス停の見直し	バス停 1日あたりの 利用者数	50人以上	向上	ルートの追加・新設を検討対象とする
		9人以下	改善	他ルートとの統合・廃止、通過便の設定や区間の廃止を検討対象とする
便数の見直し	バス 1便あたりの 利用者数	27人以上	向上	増便を検討対象とする
		15人以下	改善	減便を検討対象とする
運賃等の見直し	収支率 (運賃収入+その他収入)	65%以上	向上	割引運賃の適用範囲の拡大等を検討対象とする
		50%以下	改善	割引運賃の適用範囲の縮小等を検討対象とする

## 2. 検討に向けた確認事項

### (1) 市民からの意見について

平成 25 年 1 月 4 日（金）から 2 月 4 日（月）にかけて、パブリックコメントを実施するとともに、計 5 回の説明会を実施した。その結果、議題（1）に示したとおり、計 241 名から意見を得た。

### (2) 交通管理者からの意見について

平成 25 年 5 月以降の運行サービスの見直しに向け、バスルートやバス停の安全性について、バス事業者も含め、交通管理者である箕面警察署と協議を行った。その結果、バス停の設置について、以下の指摘を得た。

- 現在利用している東行きの山手公園前バス停については、交差点の直近になっており、安全上問題があるため、改善を必要とする。
- ルートの変更に伴って移設予定である北行きの小野原バス停については、乗降者の安全を確保するため、国道 171 号の北側に設置することが妥当である。
- 新設を予定している多世代地域交流センター前のバス停については、周辺施設の出入口付近になるため、施設の直近ではなく、50m 西側付近に設置することが妥当である。
- 新設を予定している粟生間谷西付近のバス停については、西田公園の南側付近であれば設置可能であるが、駐車場の管理者である地元自治会の了解が必要である。
- その他、バス停新設や移設については、特に問題がないと考えられる。

## 3. 平日の本格運行（案）の検討内容

前提条件： 効果的・効率的な運行を実現するため、ルート全体（パターンダイヤ）への影響も考慮し、運行距離が運行計画（案）と変わらないことを前提とした代替案を検討する。

- 検討項目：
- (1) 粟生間谷地域における代替ルートについて
  - (2) 小野原東地域における代替ルートについて
  - (3) 如意谷地域における代替ルートについて
  - (4) その他

(1) 粟生間谷地域における代替ルートについて

- 意見Ⅰ 粟生間谷西地域におけるルートの存続を実現してほしい（計 48 件）
- 意見Ⅱ 粟生間谷西地域は利用者が少なく、バス停の廃止は妥当だと思う（計 2 件）
- 意見Ⅲ 粟生間谷西地域におけるショートカット後のバス停については、利便性・安全性の観点から問題があるのではないか。（計 40 件）
- 意見Ⅳ 粟生間谷地域から市中心部へ速達性・利便性の高いルートを整備してほしい。（計 45 件）

① 運行計画（案）



## ② 代替案1



### <代替案1による効果>

- 所要時間の短縮により、運行間隔の縮小やパターンダイヤの実現につながる。  
(→ルート全体 (=全市的) にとって、プラス)
- 区間を通過する利用者の速達性 (=利便性) 向上につながる。  
(→間谷住宅方面の利用者にとって、プラス)
- 粟生間谷西地域の利用者の利便性が維持される。  
(→粟生間谷西地域の利用者にとって、プラス)

### <代替案1による課題>

- 西部地域から粟生団地への所要時間が長くなる。
- 粟生団地から粟生間谷住宅地域への利用者の利便性が低下する。  
(→粟生団地バス停の利用者にとって、マイナス)



< 検討資料1 > 利用者数

バス停名	1日あたりの利用者数	順位 (全 101 停留所)
粟生間谷西四丁目	3.9 人	70 位
奥	1.5 人	99 位
粟生団地	25.8 人	12 位

※ 平成23年9月～平成24年12月までの平均値

< 検討資料2 > 通過人員数

項目	利用者数
“粟生間谷西四丁目”及び“奥”を乗降せずに通過する利用者	26人
粟生団地を乗降せずに通過する利用者	28人

※ 平成24年6月に実施したOD調査結果

(2) 小野原東地域における代替ルートについて

意見 小野原地域におけるルートの存続を実現してほしい。(計 172 件)

① 運行計画 (案)



② 代替案1



<代替案1による効果>

- 所要時間の短縮により、運行間隔の縮小やパターンダイヤの実現につながる。  
(→ルート全体 (=全市的) にとって、プラス)
- 区間を通過する利用者の速達性 (=利便性) 向上につながる。  
(→地域の利用者にとって、プラス)
- 新バス停の設置により、公共施設 (多世代地域交流センター) への利便性向上につながる。(施設の正面にバス停を設置できる。)  
(→全市的な公共福祉サービスにとって、プラス)

<代替案1による課題>

- 小野原東の利用者の利便性が低下する。  
(→当該バス停の利用者にとって、マイナス)
- 住宅地の中を走行するため、地元の了解が必要となる。

< 検討資料1 > 利用者数

バス停名	1日あたりの利用者数	順位 (全 101 停留所)
小野原東六丁目西	2.1 人	92 位
小野原東六丁目	3.5 人	77 位
小野原東	3.1 人	81 位

※ 平成23年9月～平成24年12月までの平均値

< 検討資料2 > 通過人員数

項目	利用者数
“小野原東六丁目西”及び“小野原東六丁目”を乗降せずに通過する利用者	29 人
“小野原東”を乗降せずに通過する利用者	28 人

※ 平成24年6月に実施したOD調査結果

(3) 如意谷地域における代替ルートの見直しについて

- 意見Ⅰ 東行きの山手公園前バス停は、周辺環境が危険であるため、南側バス停を活かしたルートにしてほしい。(1 件)
- 意見Ⅱ 現在利用している東行きの山手公園前バス停については、交差点の直近になっており、安全上問題があるため、改善を必要とする。(交通管理者)

① 運行計画 (案)



② 代替案 1

<例1>



<代替案 1 による効果>

- 利用者の安全性向上につながる。  
(→地域の利用者およびバスサービス全体にとって、プラス)

#### 4. 休日限定の実証運行計画（案）についての検討

乗継ダイヤや運行時間帯については、バス事業者などを含む専門部会で検討することとし、今回の市民部会では、意見の多かった休日限定の実証運行に関する周知や区分方法について、検討する。

意見 市民の混乱を避けるためには、平日のオレンジゆするバスとの違いを丁寧に周知しないといけない。（計3件）

##### ① ルート名称の設定

案1：青・赤・黄以外の色を使用する。（桃、緑・・・）

案2：箕面市に縁のある名称を使用する。（もみじ、滝ノ道、ゆする・・・）

案3：ルートが結ぶ地域名を使用する。（栗生号、桜ヶ丘号、かやの号・・・）

##### < 検討資料1 > これまでの名称(平成22年9月～平成23年8月まで)

- 緑ルート（西部北循環）
- 桃ルート（西部南循環）
- 赤ルート（中部循環）
- 青ルート（東部北循環）
- 黄ルート（東部南循環）

##### < 検討資料2 > 箕面市に縁のある名称

項目	主な名称
市の花	ササユリ
市の木	イロハモミジ
動物	ホタル・カジカガエル・ニホンザル
名所	箕面大滝・勝尾寺・龍安寺・西江寺
人物	開成皇子・野口英世・森秀次・笹川良一
その他	天狗

② バス車両における表示

案1：フロント部分への簡易的な案内表示（車内から※）

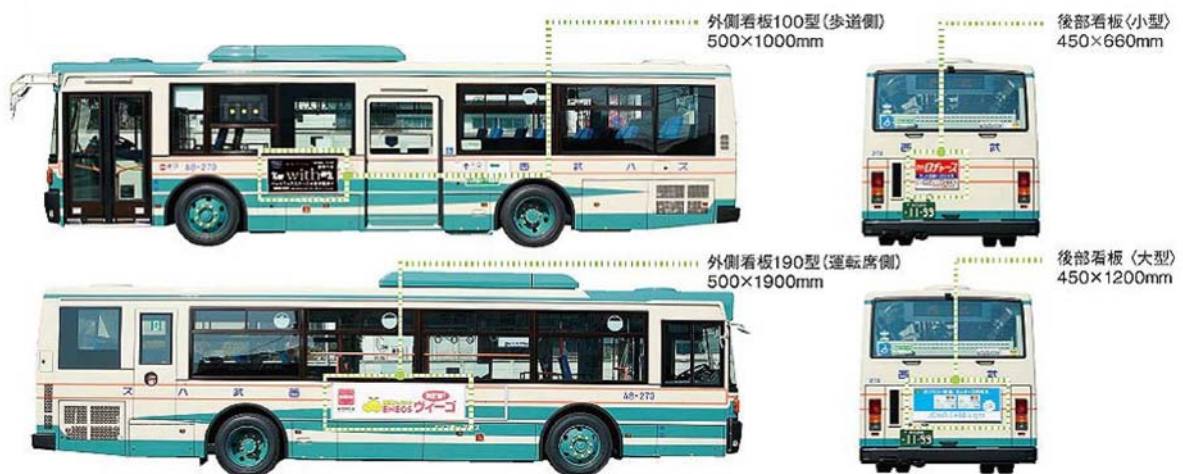
案2：固定具による装飾（車外から）

※ 車外からの装飾については、安全上問題がある

<検討資料1> フロント部分への簡易的な案内表示(車内から)のイメージ



<検討資料2> 固定具による装飾のイメージ



出典：西武バスHP